

## 芋沢受水非常用送水施設合同訓練に参加しました

令和4年12月16日（金）に、仙台市水道局主催の芋沢受水非常用送水施設合同訓練に参加しました。

「芋沢受水非常用送水施設」は平成30年度に交わした覚書に基づき、令和3年度に整備が完了したもので、今回の訓練は対応手順等について共有を行うとともに、宮城県と仙台市の連携やそれぞれの動き、全体の流れを確認することでより確実な連携体制を構築することを目的としています。

この訓練は、以前に仙台市が管轄する中原浄水場で長時間取水停止が継続する水質事故が発生したことなどを踏まえ、今回は完成した「芋沢受水非常用送水施設」を用いて、仙南・仙塩広域水道の水道水を中原浄水場へ送水する想定で訓練を行いました。

仙南・仙塩広域水道事務所では仙台市との連絡調整のほか、主たる作業として仙台市側の水道管へ送水を行う連絡管のバルブ操作を担当することで、非常用送水施設を現地で稼働させる過程や処理フローを再確認し、バックアップ体制を強化することができました。

今回は、県の水道水を中原浄水場へ送水する作業は実際には行わず、行程および対応手順の確認のみの形式で訓練を行いました。その後の意見交換会では県、市の作業分担の枠にとらわれず、広義での災害対応に関する様々な意見が出るなど非常に有意義な訓練となりました。

今後も、仙台市とさらに密接な関係を築いていくほか、県としても災害に関する危機意識をより一層高めたいと思います。



情報伝達作業



マンホール内バルブ確認（TV取材）



バルブ開閉作業確認



意見交換会

○位置図

